

保育サポートシステム通信 vol.3



「長崎県医師会保育サポートシステム」のサポーターや、子育て中の医師をつなぐ広報紙です。関係者の皆様に有益な情報を提供するとともに、よりよいシステムにしていくための情報交換の場になればと考えております。



ひとことメッセージ



長崎県医師会常任理事
社会医療法人春回会
長崎北病院副院長

瀬戸 牧子

子育てに 今 想う事

日曜日の昼下がり、静まり返った家にいるとあの喧噪の日々が懐かしく思い出されます。私の子育ては“ありがとう”です。オギャーと生まれてきた時、本当に嬉しかった、神様にありがとう！4人を取り上げてくださったM先生、助産婦さん、ありがとうございました。でもなぜ子ども達は深夜にばかり生まれてくるんでしょう・・・すみません。そしてそれぞれの子育ては、双方の実家、保育園、幼稚園、学校と場所を変えながら本当に皆さんにお世話になりました。ありがとうございました。子どもをかごに入れて夕方実験に大学に通ったのも懐かしい日々。一緒に遊んでくれた先生たち、ありがとう。そして小児科に通った事のない元気な子どもたちにもありがとう。同じように産まれ育ったはずなのに一人一人全く違う。顔も違えば、興味も違う、違うのが当たり前という事を身をもって教えてくれました。最後に夫にもありがとう！！

私は幸運にも双方の両親も地元でしたし、支えてくれる人にも恵まれました。家族が少なくなった今、様々なかたちでサポートしてもらえる関係を少しでも広げておく事がいざという時にきっと役に立ちます。一人で決めて背負い込まないこと、自分からも手をのばしてお願いする事が大切なんだと思います。保育サポートシステムがサポーター、医師双方にとって新しいつながりを生み出すきっかけになる事を期待しています。

対象者を拡大しました!!

保育サポートシステムは、育児支援を必要とする子育て医師に対して、コーディネーターがそれぞれのニーズに沿った保育サポーターの情報提供・紹介を行うことを目的としています。平成27年7月から対象者を、長崎市、西海市、長与町、時津町の病院に勤務している医師へと対象を拡大しました。

7月15日～8月31日の間に申し込んだ医師へ子育て医師応援利用券配布します!

- ・通常保育(元気なときの保育)、病児保育どちらでも使うことができます。
- ・1回で複数枚使用できます。おつりは出ません。
- ・サポーター報酬に関してのみ利用できます。交通費などは自己負担ですのご留意ください。
- ・サポーター報酬(利用料金)を支払う際、サポーターさんへお渡しください。

利用方法

医師(利用者)

申込書記入

コーディネーターとの面談

三者面談

リハーサル

実際のサポート

サポーター

活動終了

利用券+報酬・実費受け取り

報告書と利用券を県医師会に提出

利用券換金



サポーターの声

私は、この4月と5月に、小学校1年生のお子さん2人のサポートをさせていただきました。活動内容は、入学式翌日より、放課後小学校から2人の通う学童保育までの道路に慣れるまでの間「一緒に歩く」ということでした。

最初の頃、重いランドセル、長い道のり、集団下校…慣れていない2人は遅れないで歩くのに四苦八苦で、私も口を出さなければ道中でした。それが日に日に、目に見えてたくましくなり、2人とも車に注意しつつ「さっ」「さっ」と歩けるようになりました。それに従い私の注意する回数も減っていき、後ろから見守りながら歩くだけですむようになったところで、活動終了でした。

このサポートにより私は、2人のどんどん伸びていく成長に驚きとパワーをいただきました。それからもうひとつ。2人の会話の随所にママ(先生)のことが出てきて、2人ともお仕事をがんばっているママのことを実によく見ていて、子どもながら健気(けなげ)にがんばっていることを知りました。ぎゅっと抱きしめたいくらいでした。このようにがんばっている先生とお子さんたちをまるごと「大丈夫ですよ」と受け止められるくらいのサポーターになりたいですし、努力していかねばいけなないと考えた今回のサポートでした。

このサポートを私に与えてくださった先生と、コーディネーターさんに深く感謝しております。ありがとうございました。



利用者の声

大学病院勤務中の30代女性医師です。6歳と4歳のこどもがいますが、朝は家族が起きる前に家をでて、家に帰るのはこどもたちが寝てしまった時間、週末もなかなかゆっくり過ごす時間がとれず、夫と母が2人でまわしている状況です。夫も同業で、母一人にかかる負担が大きすぎる、と思っていた矢先にサポートシステムの案内を見つけました。

利用前には病院内で丁寧な面談の時間が設けられ、コーディネーター2名、サポーター2名の手厚くきめ細かい対応で非常に驚きました。実際、利用させていただいたのはまだ1回のみですが、子供たちも新鮮で楽しかったようです。何かあったら頼れる存在がこんなにありがたいものかと感じています。まだ登録されてない方でも、一度面談をうけておくと「一人で頑張らなくていいんだ」という安心が得られますので、ぜひとも登録をお勧めします。

「子育ては公共事業」一人で悩むことなく、誰かに頼って仕事も子育てもあきらめない女性医師が増えて、社会に還元できたらいいと思います。



嬉しいお便りも届きました!!

せっかく素敵な〇〇さんにサポーターになっていただいたのに、一度もシステムを利用できないまま転勤になって残念です。ご迷惑でなければ長崎に戻ったときにまたサポーターになっていただきたいです。〇〇さんのようなやさしいサポーターさんがいると思っただけで、大きな心の支えになりました。

(サポーターさんに届いたお手紙から)

お知らせ

●サポーター研修会 (新規登録の方向け)

日時：10月29日(木)午後
講師：出口貴美子先生(小児科医師)、
富永ちはる先生(臨床心理士)
※詳細は後日新聞等でお知らせします。

●サポータースキルアップ研修会

※詳細は別途郵送します。

①わらべうた

子どもさんと遊ぶときのヒントがいっぱい

日時：10月5日(月)14:00~15:30

場所：長崎県医師会館

講師：山田ゆかりさん
(リトム音楽教室)

わらべうたは登録者以外の方も参加できます。お友達と一緒にどうぞ!



②救急救命

もしものときのために

日時：11月27日(金)

14:00~15:30

場所：長崎県医師会館

講師：長崎市消防局職員

※前回日本赤十字社の講習を受けた方、違う指導で再確認してみても?



消防局の専門家による指導です。



お申し込みは…

長崎県医師会

095-844-1111(岸川)まで

【熱中症の予防】(一般のかた向けのアドバイス)

こまめな水分補給 / おしっここの量や回数に気を配る / 衣類の調節 / 適切なクーラー使用 / こまめに日陰で休憩

【疑われる症状があったら】

衣類を緩め、涼しいところに頭を低くした状態で寝かせます。塩分・糖分が含まれたイオン飲料をこまめに少しずつ飲ませましょう。

【全身がだるそう、意識がはっきりしないなどの症状がみられたら】

重症化しないための処置が必要です。イオン飲料をこまめに少しずつ与えながら、冷たいぬれタオルで拭く・風を送る・クーラーの効いた部屋に寝かせるなど積極的に体を冷やすようにしましょう。同時に病院を受診する準備をしましょう。



日本小児科学会HP

<http://www.jpeds.or.jp/> 参考

保育サポートシステムの体制・利用状況

平成27年7月31日現在

保育サポーター登録者	75名
申し込み医師	22名
サポートを受けた医師	15名

問い合わせ先

【長崎県医師会保育サポートシステム】

▶長崎県医師会

〒852-8532 長崎市茂里町 3-27 TEL.095-844-1111 FAX.095-844-1110 <http://www.nagasaki.med.or.jp/>

▶長崎大学病院 メディカル・ワークライフバランスセンター

〒852-8501 長崎市坂本 1-7-1 TEL&FAX.095-819-7979 <http://nagasaki-ajisai.jp/>